

## 2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3 月 23 日
研究・研修課題名	人工腎臓装置保守管理研修（メンテナンスライセンス取得）
研究・研修組織名（所属）	日機装株式会社
研究・研修責任者名（所属）	明穂 一広(MEセンター)
研究・研修実施者名（所属）	原 有彩、山本優葉(MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果（研修中止）
該当者名(所属)	原 有彩(MEセンター)
学会名(会期・場所)、認定名等	人工腎臓装置保守管理研修
演題名・認証交付元等	なし
取得日・認定期間等	なし
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

**目的及び方法、成果の内容****①目的**

血液透析患者数の増加だけでなく、高齢化（全国平均年齢 67.86 歳）に伴い、合併症を有する透析困難症例が著しく増加している。当院の透析件数は、増床後、平成 24 年より毎年 100 件以上のペースで増加し、あわせて高齢化、透析困難症例も増加している。合併症のうち、心・血管系あるいは脳血管系合併症を有する症例の透析療法に苦慮することも多く、外傷センターから透析を要する患者も増加傾向にある。

現在、血液浄化治療部と集中治療部では、高度な血液透析濾過に対応した、血液浄化装置（DBG03）を計 12 台所有しており、今年度は ICU、血液浄化部と共に装置の更新が決定している。血液浄化装置は生体機能代行装置であり、装置の機能が正常状態を維持できない場合は、生命を脅かす事態へ直結する。年々稼働率の高くなる装置を短時間でメンテナンスし、安全に運用するためには、装置の保守点検が必須となり、装置を構成する部品の動作原理や構造を理解し、安全に使用するための知識習得が必要である。現在ライセンスを所有し業務に携わるスタッフは 2 名しかいないため、保守点検に関する人工腎臓装置保守管理研修を受講し、メンテナンスライセンスを取得する。

**②方法**

2020 年(日付未定)に開催される人工腎臓装置保守管理研修に参加する。

**③成果**

研修中止になったため、来年度参加予定。